

## 令和4年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(山北地区)

開催日時	令和4年11月22日(火)午後7時から午後9時15分
場所	生涯学習センター
町民参加者	23人(40代以下4人、50代3人、60代以上16人)
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼都市整備課長、地域防災課長、農林課長、商工観光課長、上下水道課長、生涯学習課長、事務局3人

### 出席者からの主な意見や提案

#### 《テーマ：防災関連について》

- 近年、台風で土砂災害が複数回発生している地域がある。台風14号により被災した洒水の滝付近及び台地区での復旧計画と今後の対応はどのように検討されているか。また、災害防止予算や対応予算は町としてどのように確保されているのか。近年、風水害で同じ箇所が被害を受けている。城山地区のがん沢や平山地区の洒水の滝が挙げられるが、再発防止の施策はどのように考えているのか。
- 町防災訓練に参加した際に、民間の「地域情報配信アプリ」を携帯電話にインストールするよう話があったが、本アプリの今後の運用について考えを伺いたい。また、町民から災害情報を町へ送るシステムの導入は考えていないか。
- 台風などにより河川などが被災した際、現状復旧するだけでは次に災害が起きた際に同様に被災することが考えられる。そこで、復旧作業において次に災害が起きた際にも被災しないような、現状復旧以上の対策を講じられないか。
- 現在小学校や中学校が避難所に指定されているが、停電に備えるため太陽光発電のパネルを設置する考えはないか。
- 地域作業所のやまなみ工芸の建物について、老朽化により2階に立ち入れないと聞いたが、一時的な避難場所や地域の交流施設として利用することはできないか。上清水地区の避難場所は役場であるが、高齢世帯が多く役場に避難することが困難な可能性もあるため、利用について検討していただきたい。
- 他自治体と防災協定を締結しているが、その内容について詳しく教えていただきたい。また、2023年は関東大震災から100年の節目の年となるため、ハザードマップの見方や地域の避難場所などの身近な事柄をテーマにして、町民を対象にした防災に関する講座などを開催してほしい。

### 《テーマ：山北地区の活性化について》

- 山北町では車の運転ができないと生活できないと感じており、自身が高齢になった際に町で生活できるか不安を感じている。他の自治体では交通施策に係る実証実験などを実施しているが、山北町では交通問題に対してどのような取り組みを実施しているのか伺いたい。
- 山北駅周辺の商店街について、今後も店舗が減少することが予想されるが、町として、町内で今後店を運営したい方と店を引き継ぎたい方をマッチングするなどの取り組みを実施する予定はないか。
- 町内循環バスについて、有効活用することで町の活性化につながるのではないかと考えている。そこで、町内循環バスの運行が開始された経緯を教えてください。

### 《テーマ：その他》

- 新東名高速道路（仮称）山北スマートインターチェンジの完成に伴い、周辺地域の開発ビジョンなどがあれば教えてほしい。例えば道の駅の整備や商業施設の誘致などがあると思うがどうか。
- 少子高齢化が数十年前から叫ばれるようになり、町でも人口減少に歯止めがかからない。そこで若者が魅力を感じる町づくりについて、更に検討を進めてほしい。町外の方で山北町を知らない方がいるため、町の魅力向上のために思い切って町名を変更することについて議論を始めたらどうか。
- 国道 246 号線については慢性的に交通渋滞が発生している状態であり、旧道や町道でもその影響を受けている状況である。このことについて、町としての考えがあれば伺いたい。